

講義概要 / Course description

科目基礎情報 / Course information

開講元学部 / Faculty	外国語学部 / FACULTY OF FOREIGN STUDIES
開講元学科 / Department	
登録コード / Registration Code	FST60200
期間 / Period	2009年度 / Academic Year 秋学期 / AUTUMN
学期 / Semester	秋学期 / AUTUMN
曜限 / Period	水 / Wed 3
科目名 / Course title	外国研究と歴史学 / FOREIGN STUDIES AND HISTORY
授業形態 / Course Type	講義 / Lecture
科目ナンバリング / Course Numbering	
レベル / Level	
教員表示名	小塩 和人
主担当教員名 / Instructor	小塩 和人 / OSHIO KAZUTO
単位数 / Credits	2
更新日 / Date of renewal	2009/02/25

講義概要情報 / Course description

講義概要 / Course description	<p>目的</p> <p>外国研究と歴史学について考える「契機」を提供するため、本授業ではアメリカ合衆国史を事例としつつ、歴史家が様々な種類の一次史料とどのように向き合うのか、英語の文献を読みながら検証する。この作業を通して、歴史的に考える事、たとえば、史料は誰がいつ何故どこで形成したのか、どのような視点に立っているのかを問い、史料の持つバイアスを否定・肯定するよりも分析する事で歴史的解釈を行なうという実践を体験して欲しい。</p> <p>概要</p> <p>履修者が予め読んでおくことが要求される文献は、まず事例の背景を説明してある”Introduction”、特定の種類の史料にどんな利点や難点があるかを整理した”Using the Source”、一次史料をどのように分析したらよいかのヒントをまとめた”Working with the Source”、一次史料そのものを列挙した”The Source”、授業中の議論の材料となる設問”Analyzing the Source”、そして”Beyond the Source” “Finding and Supplementing the Source”を最後に載せてあるので、さらなる一次史料調査の際に参照されたい。</p>
他学部・他研究科受講可否	<p>不可 / No</p> <p>※要覧記載の履修対象とする年次を確認すること。</p>

／Other departments' students	Please make sure to confirm the student year listed in the bulletin.
評価基準・割合 ／Evaluation	<p>授業参加／Class participation (20.0%)</p> <p>リアクションペーパー／Reaction paper (20.0%)</p> <p>レポート／Report (30.0%)</p> <p>その他／Others(in detail) : 成績</p> <p>ムードル (30%) 授業参加 (20%) リスponsシート (20%) 学期末レポート (30%)。文献や発表の要約 (日本語約400字あるいは英語約200語) を授業開始前にムードルへ書き込み (http://nakama.cc.sophia.ac.jpパスワードは初回の授業で提示予定)、授業中の発言・質問や研究発表 (アウトラインを準備した上で数分の口頭発表 x 2回)、毎回授業の最後に「リアペ」を書き、六事例の中から一つを選びさらなる一次史料調査を加えて理論と実践について考察した小論文 (日本語約4000字あるいは英語約2000語: 剽窃厳禁) を授業中に手渡しする。遅延は当日25%減、翌日50%減、翌々日75%減まで (それ以降は0点)。なお、4回以上の欠席は不合格とするので、とくに最終学年次生は十分留意されたい。</p>
テキスト／Textbook	<p>自由記述／Free Text : テキスト</p> <p>Victoria B. Brown and Timothy J. Shannon, eds. Going to the Source. Boston: Bedford/St. Martin's, 2004, 2 vols. (ムードルはB4サイズなので、印刷する場合A4サイズに指定／縮小のこと)</p>
必要外国語 ／Required foreign languages	English

講義スケジュール／Schedule

授業計画／Class schedule	1.はじめに 授業の目的と概要
	2.史料操作の理論と実践 (Vol. 1, ix-xiiiを読み、予めムードルに要点を書き込む: 以下同様)
	3.事例1 Toasting Rebellion: Songs and Toasts in Revolutionary America (Vol. 1, 89-110)
	4.事例2 Picturing a Western Myth: Photography and the Blackfeet (Vol. 2, 28-50)
	5.事例3 Selling Respectability: Advertisements in the African-American Press, 1910-1913 (Vol. 2, 94-115)
	6.研究発表 (Aグループ 事例1~3をまとめた上で予めムードルに要点を書き込む)
	7.研究発表 (Bグループ)
	8.事例4 Measuring Mental Fitness: Government IQ Tests during World War I (Vol. 2, 116-136)
	9.事例5 Speaking of Equality: The Senate Debate on the Civil Rights Act of 1964 (Vol. 2, 227-248)
	10.事例6 The Changing Profile of America: Population Statistics and the

	Effects of the Immigration Act of 1965 (302-327)
	11. 研究発表 (事例4~6 : Bグループ)
	12. 研究発表 (事例4~6 : Aグループ)
	13. レポート提出
	14. おわりに